

技術倫理協議会公開シンポジウム
「技術倫理に対する学協会の取り組み－現状と今後の課題」(案)

日 時 : 2005年10月20日(木) 13:10-17:00
場 所 : 土木学会講堂(JR四谷駅下車徒歩3分) TEL 03-3355-3442(当日連絡先)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内) (社)土木学会 2階
参加費 : 無料(資料代 1,000円)
参加申込 : 申込書に必要事項記入の上、下記まで FAXにてお申込下さい(定員になり次第締切)。
FAX: 03-5360-3508 (社)日本機械学会 鈴木雅行宛
問合せ先 : (社)日本機械学会 鈴木雅行 TEL: 03-5360-3500 E-mail: suzuki@jsme.or.jp

主 催 : 技術倫理協議会
共 催 : 日本機械学会、土木学会、日本建築学会、化学工学会、日本工学教育協会、
(案) 日本技術士会、電子情報通信学会、日本原子力学会、日本工学アカデミー、
応用物理学会、日本化学会、電気学会
後 援 : 日本工学会(案)

技術の飛躍的な進歩は人類の生活を豊かにし、快適性、利便性の高い社会を享受することを可能にしました。しかしながら、バブル経済の崩壊以降、雪印乳業の集団食中毒事件、雪印食品や日本ハムなどの業肉偽装事件、三菱自動車・三菱ふそうバストラックのクレーム隠し、鋼橋の談合事件等、さまざまな問題が起こり、その中には技術倫理や技術者倫理に関する問題が少なくありません。社会から技術の信頼観が問われる中で、技術倫理および技術者倫理に関して、ここ数年各学協会で技術倫理規程が作成されるなど、関心がたかまっています。

このような背景の下で、科学技術に係わる関係学会や協会間で、技術倫理および技術者倫理に関する共通課題について協議し、倫理の普及・推進、検討および問題の解決などを図る目的をもって、技術倫理協議会が平成16年4月に設立されました。現在、技術倫理協議会は日本機械学会、土木学会、日本建築学会、化学工学会、日本工学教育協会、日本技術士会、電子情報通信学会、日本原子力学会、日本工学アカデミー、応用物理学会、日本化学会、電気学会の12学協会から構成されています。

技術倫理協議会では、各分野における技術倫理および技術者倫理に関する問題やこれに対する取り組みの現状分析と同時に、技術倫理および技術者倫理の基本的考え方を明らかにするための活動を行ってきました。技術倫理協議会の設立から1年半を機に、現在までの検討結果のまとめを行うと同時に、今後取り組むべき多数の問題の論点を整理するため、公開シンポジウムを開催することになりました。各方面の皆様のご参加をお願いする次第です。

プログラム

開 会	池田 駿介(東京工業大学教授)	13:00
挨 拶	長島 昭(技術倫理協議会議長、横浜国立大学理事)	13:03-13:10
基調講演	「技術者倫理を支えるもの－その成立までの歴史」 古谷 圭一(東京理科大学名誉教授)	13:10-14:20
総括報告	「各学協会における技術倫理の取り組み概要」 大場 恭子(金沢工業大学科学技術応用倫理研究所研究員)	14:30-15:10
パネルディスカッション	「学協会は技術倫理にいかに関与すべきか？」 司会: 札野 順(金沢工業大学教授)、パネリスト: 学協会代表	15:20-16:50
閉 会	川島 一彦(実行委員長、東京工業大学教授)	